

# 学修ポートフォリオシステムで 成長を見える化

学修ポートフォリオシステムを活用して、  
自分の成長過程を知ること、主体的な学びを実現しよう！

## STEP 1

まずはアクセスする！



- ①「東京理科大学公式HP」→「在学生・保護者」→「CLASS(学内システム)」とアクセスしログイン
- ②CLASSのトップページ右側にある「学修ポートフォリオ」からアクセス  
もしくは上部メニューにある「学修P」→「学修ポートフォリオ」からアクセス

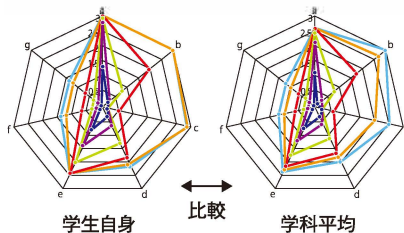


## STEP 2

評価レーダーチャートで  
達成度を学科平均と比較

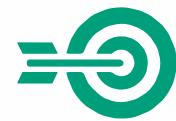


- ①「メニュー一覧」→「学修度」を選択
- ②「マ学修度」より入学時からこれまでの各学期の自分の学修成果と所属学科の平均をレーダーチャートおよび数値表で確認できます



## STEP 3

「今期の振り返り」と  
「次の半期の目標」を入力



- ①「メニュー一覧」→「学修目標」を選択
- ②「マ学修目標」に「今期の振り返り」、「次の半期の目標」を文章で記録することができます  
※入力可能期間にのみ編集が可能  
※入学時は「入学時の目標」を記録



## 学びのPDCAサイクル

主体的な学びで学修の質を向上

その年度に何を学ぶべきか、授業の履修計画を立て、履修申告

**Plan**  
目標の入力

**Do**  
目標に基づく学修

履修申告した内容と目標に基づき授業科目を受講

**Action**  
学修の改善

**Check**  
学修の振り返り

振り返り内容を基に、次期以降の学修をブラッシュアップ！

「客観評価レーダーチャート」で、今期の学修内容や成果を振り返ろう

## よくある質問

**Q** 学修ポートフォリオシステムの中の評価やレーダーチャート、振り返り、目標の情報は卒業要件に関係ありますか？

**A** 関係ありません。所属している学科の卒業要件は学修簿に記載されているとおりです。ですが、目標等の入力を行っている学生群は、行っていない学生群よりGPA平均が高いという分析結果も出ています。

**Q** 学修ポートフォリオシステムは自分の大学生活にどのような意味があり、どのように活用すればよいのですか？

**A** 学修ポートフォリオにより、「主体的な学びのサイクル」を構築し、学修の質を向上することができます。また、TUSルーブリックにより、「卒業時に習得が期待される能力の達成度」という観点で、就職活動など様々な場面において大学で学修した成果を説明できる材料になります。